

平成19年度第3回
北陸地方整備局事業評価監視委員会 議事概要

1. 日 時 平成20年2月5日（火） 13時30分～16時30分
2. 場 所 北陸地方整備局 4階 供用会議室
3. 出席者
 委 員：西澤委員長、玉井委員長代理、大島委員、永山委員、松本委員、丸山委員、宮島委員
 北陸地整：局長、副局長、次長、企画部長、建政部長、河川部長、道路部長、港湾空港部長、営繕部長、用地部長 他
4. 審 議
 (1) 砂防事業の再評価審議
 (2) 道路事業の再評価審議
 (3) 道路事業の事後評価審議
5. 審議結果
 (1) 砂防事業の再評価審議
 以下の事業について審議した結果、北陸地方整備局の再評価及び対応方針(原案)は妥当である。
 ●信濃川下流（中津川水系）直轄砂防事業
 ○対応方針
 ・事業継続
 ○主な意見等
 ・当面の目標を達成した時点で、社会情勢等も含めた総括的な評価をすべき。
 ●信濃川上流（梓川下流・高瀬川水系）直轄砂防事業
 ○対応方針
 ・事業継続
 ○主な意見等
 ・当面の目標を達成した時点で、社会情勢等も含めた総括的な評価をすべき。
- (2) 道路事業の再評価審議
 以下の事業について審議した結果、北陸地方整備局の再評価及び対応方針(原案)は妥当である。
 ●一般国道8号 柏崎バイパス
 ○対応方針
 ・事業継続
 ○主な意見等
 ・防災上の位置付けについて表現を工夫すべき。
 ●一般国道470号 能越自動車道 七尾氷見道路
 ○対応方針
 ・事業継続

- 主な意見等
 - ・特になし。

(3) 道路事業の事後評価審議

以下の事業について審議した結果、北陸地方整備局の事後評価及び対応方針(案)は妥当である。

●一般国道8号 金沢西バイパス

○対応方針

- ・今後の事後評価及び改善措置の必要性なし

○主な意見等

- ・交通事故の低減については、事故件数が重要な指標である。
- ・バイパス整備による環境面（CO₂、NO_x等）への効果については、計算された数値の意味について、誤解のないように表現を工夫すべき。
- ・計画時点と実態の比較について表現の工夫が必要。

●一般国道8号 小松バイパス

○対応方針

- ・今後の事後評価及び改善措置の必要性なし

○主な意見等

- ・交通事故の低減については、事故件数が重要な指標である。
- ・バイパス整備による環境面（CO₂、NO_x等）への効果については、計算された数値の意味について、誤解のないように表現を工夫すべき。
- ・計画時点と実態の比較について表現の工夫が必要。